

遍照寺多宝塔



指定区分	国指定重要文化財(建造物)
読みかた	へんしょうじたほうとう
所在地	笠岡市笠岡
指定年月日	昭和50年6月23日
解説	木造で方三間(柱間3.94m)、本瓦葺で高さは15.5mを測る。初層の天井に慶長11年(1606)の墨書があり、県下の多宝塔では最古である。小型の多宝塔であるが、組物や内部の彩色などは時代の特色をよく示しており、しかも各部の保存状態も良好である。遍照寺は昭和50年に都市計画により多宝塔をのぞいて移転し、現在は多宝塔のみが街中に残っている。
アクセス方法	JR笠岡駅から徒歩5分
公開状況	外観のみ
設備	
備考	

きつずページ



していくぶん (指定区分)	国指定重要文化財(建造物)
ぶんかざいめい (文化財名)	遍照寺多宝塔
よみかた	へんしょうじたほうとう
しょざいち (所在地)	笠岡市笠岡
していつひ (指定した日)	昭和50年6月23日
せつめい	1606年に建(た)てられた塔(とう)です。県内(けんない)の多宝塔(たほうとう)としては、もっとも古いものです。県内には、ここを含(ふく)めて全部(ぜんぶ)で4基(き)の多宝塔(たほうとう)があります。